

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 25 年 2 月 19 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	病院施設における空調用冷却水ポンプへのインバーター制御設備（エコビジョン）導入による排出削減事業
排出削減事業者名	独立行政法人労働者健康福祉機構 浜松労災病院
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構
事業実施場所	独立行政法人労働者健康福祉機構 浜松労災病院 （静岡県浜松市東区将監町 2 5）
事業の概要	病院施設において、空調用冷却水ポンプにインバーター制御設備を導入することにより、電力使用量およびCO ₂ 排出量の大幅な削減を図る。
排出削減量の計画	<限界電源係数採用> 2012 年度 14tCO ₂ /年 （事業実施期間合計 14tCO ₂ ） <全電源係数採用> 2012 年度 11tCO ₂ /年 （事業実施期間合計 11tCO ₂ ）
国内クレジット 認証期間	開始日 2013 年 2 月 25 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 005 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>事業実施サイトの場所： 独立行政法人労働者健康福祉機構 浜松労災病院 (静岡県浜松市東区将監町25)</p> <p>事業実施サイトの視察日付：2013年2月4日</p>
追加性を有すること	<ol style="list-style-type: none">1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO₂排出量の削減を目的として実施されたことを質問等により確認した。2) 設備が継続利用可能であること 本事業は、空調用冷却水ポンプへのインバーター制御設備の導入である。既存の冷却水ポンプについては、事業者への質問、関連資料の閲覧により、継続使用可能であることを確認した。3) 投資回収年数 本事業の投資回収年数計算については、入手した根拠資料、質問および検算により、設備投資額をもとに算出した結果、3.4年であることを確認した。投資回収年数の根拠データにつき、関連証憑と突合することにより正確性を確認した。4) 追加性判断における定性要因 本事業者は、病院事業を営んでおり、省資源化、省エネ化など環境に配慮した対策に積極的に取り組んできた。今回の空調用冷却水ポンプへのインバーター制御設備の導入により電力使用量の削減、CO₂排出量の削減が可能となることを考慮し、また国内クレジット制度についてESCO事業者の提案があり、CSR効果も見込めることを認識して、本事業を実施する意思決定に至ったことを事業者への質問により確認した。

自主行動計画に参加していない者により行われること	排出削減事業者、関係者への質問により、自主行動計画に参加していないことを確認した。
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 005 に基づき排出削減量を計算しており、また方法論の適用条件を満たしていることを確認した。</p> <p>【方法論番号 005 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入】</p> <p>適用条件 1 については、既存の空調用冷却水ポンプ図面の確認やインバーター制御設備導入後の冷却水ポンプ、制御設備の視察、機器配置図、単線接続図の確認等により、インバーター制御設備を導入していることを確認した。</p> <p>適用条件 2 については、設備の年間稼働時間をエコビジョンで把握できることをカタログ、現場視察、関係者への質問により確認した。</p> <p>2) 既存設備の使用年数は、冷却水ポンプの法定耐用年数の 15 年を超えていないことを、質問および関連資料の閲覧により確認した。</p> <p>3) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認した。</p>

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

特になし

以上